

千里ニュータウンの再生を考える市民100人委員会報告書

市民が考え・発信する千里ニュータウンの再生ビジョン
- 生活者の視点から -

平成14年(2002年)12月25日

千里ニュータウンの再生を考える市民100人委員会

はじめに

平成13年(2001年)3月31日、吹田市からの呼びかけに応えた73名の公募市民で構成される「千里ニュータウンの再生を考える市民100人委員会」が発足しました。

まちびらきから40年を経過した千里ニュータウンは、時の流れとともに様々な課題を抱え、21世紀型の新たなニュータウンのあり方を問い直す機会に直面しています。

私たち、千里ニュータウンの再生を考える市民100人委員会の委員は、今、まさに動き始めようとしている千里ニュータウンの新たなまちづくりのための多くのプロジェクトにおいて、生活者の視点からのまちづくりコンセプトを提起すべく、様々な観点からの議論を続けてきました。

委員会では、「環境」「少子高齢化」「文化・コミュニティ活動」「コミュニティ支援施設」「住宅・交通」の大きく5つの分野に分類したグループを構成し、それぞれのグループ内で生活者の視点に立った活発な意見交換を繰り返すとともに、委員会全体での意見調整を積極的に進め、その結果をこの報告書にまとめました。各グループごとの報告では、それぞれに問題点の整理やまとめ方に特色が出ており、そのまま掲載しました。

千里ニュータウンを取り巻く種々の状況は、今もその変化の速度を速めて進行しているものも多く、早急な対応措置が必要です。

私たち委員は、この委員会をきっかけとして、市民が市政に参画しようとする意識の高まりや、千里ニュータウンを軸にした新たなコミュニティづくりへのうねりが生まれ、今後の千里ニュータウンの活性化に大きな夢を与えてくれたと確信しています。

この報告書が、これからの千里ニュータウンのまちづくりの大きな指標となり、様々なまちづくりの施策に生かされることを委員一同切に望みます。

平成14年(2002年)12月25日